

2015年

# かいはいほ

8月号

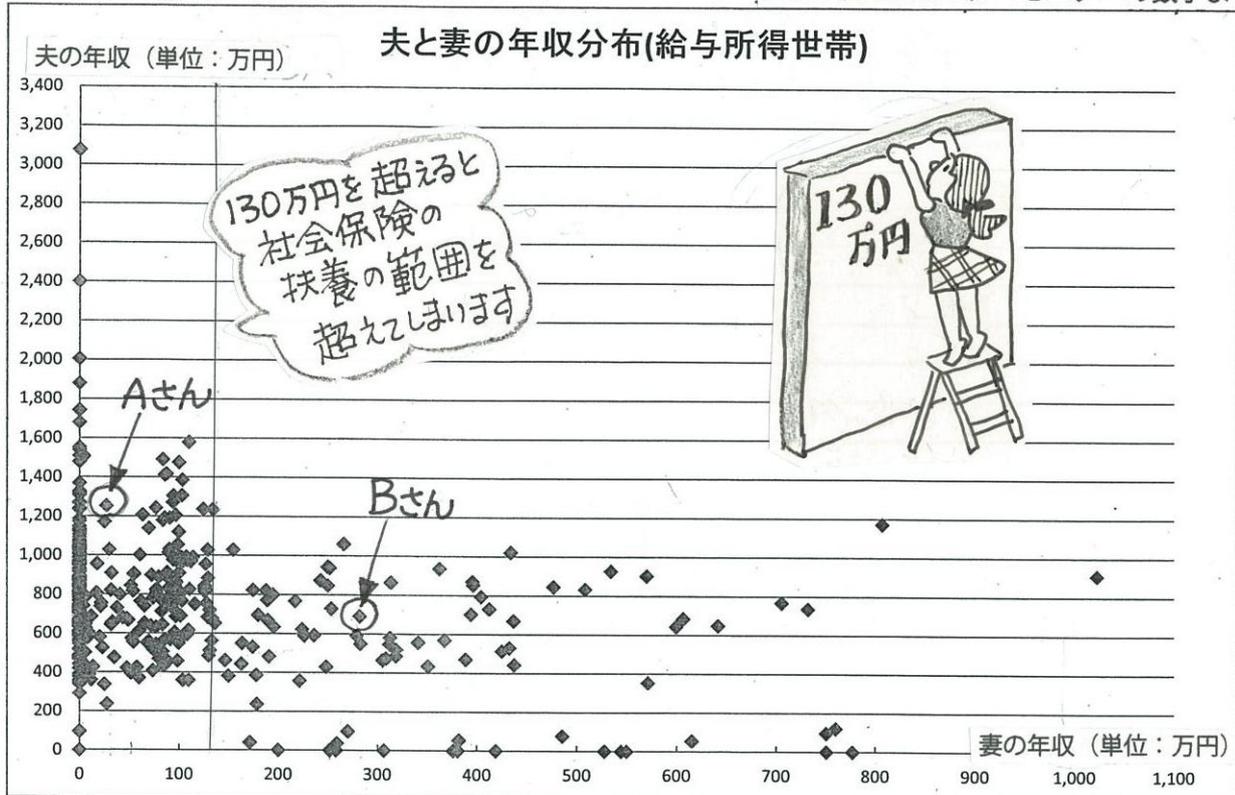
発行 家計簿・くらし調査研究会

J-POPのホームページ

<http://www.ucoop.or.jp/hiroba/report/kurashi/01/index.html>

## 給与所得のある396世帯の夫と妻の年収の間係は...

2014年ユーコープ・モニターの数字より



## 【上図の見方】

- ・夫と妻の年収（給料、賞与、自家営業、パート・アルバイト収入の合計）の関係を散布図に示したものです。（つまり、年金、家賃地代収入、同居家族からの収入、その他の収入を除いた夫婦の年収の散布図です）
- ・縦軸の夫の収入と、横軸の妻の収入が交差した点が◆となります。
- ・上図の中には、給与所得のある396世帯分の◆があります。

## 〈例〉

- ・Aさんの世帯の場合  
夫はグラフの縦の目盛り=1,200万円強、妻はグラフの横の目盛り=30万円前後の交わる点(◆)で、Aさんの世帯収入は1,200万円+30万円となります。
- ・Bさんの世帯の場合  
夫はグラフの縦の目盛り=700万円弱、妻はグラフの横の目盛り=270万円前後の交わる点(◆)で、Bさんの世帯収入は700万円+270万円となります。

- ★上の分布図から、働く主婦が多い事がわかります。
- ★妻の年収は0円から100万円強位までの間に集中しています。これは、妻の年収が130万円を超えてしまうと社会保険の、扶養の範囲を超えてしまうためだと考えられます。
- ★夫の年収が0の場合、妻の年収は0から770万円前後まで、広く分布していますが数は、まばらです。夫は定年退職等で、妻のみに収入がある場合も含まれます。
- ★妻の年収が0の場合、夫の年収は主に400万円弱から1,400万円までの間に数多く集中しています。

